

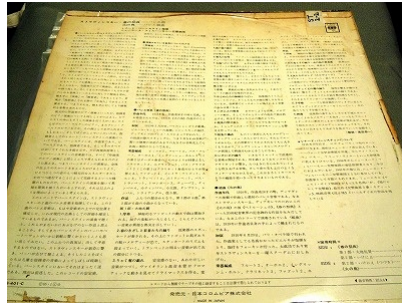


第21回2月度名曲を聴く会報告

春を感じる温暖な2月27日(金)、国分寺でんえんで午後一時より開催しました。

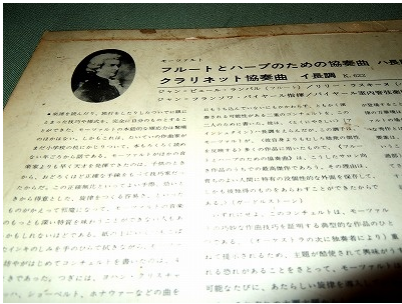
曲目 下記2曲。

◎ ストラヴィンスキー パレエ組曲、春の祭典 指揮 パーンスタイン NYフィル



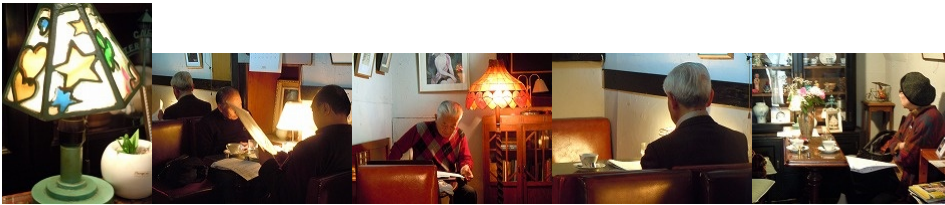
春の祭典は斬新さと破壊的なエネルギーという点で音楽史に聳え立つ名作である。しかし従来の意味での音楽の流れと異なり、複雑なリズム、不協和音に満ち、何とも難曲で指揮者泣かせ、この曲を最初に完全に暗譜で指揮したのはロリン・マゼールとのこと。いつも曲の進捗状況がわからず、今回も終局を把握できないまま終わってしまいました。

◎ モーツァルト フルートとハープのための協奏曲 バイヤール室内管弦楽団 フルート ランバル



久しぶりにフルートの名手ランバルの演奏を聴いたが、さすがである。春の祭典を聴いた直後でしたので、みなさんホットされたことでしょう。第二章の旋律がいつものことながらすばらしい。

今回の出席者 (小平)荒木、白井、滝沢、小川 (国分寺)清水会長、野部
以上 6名



名曲鑑賞の後、いつものコースと異なり、モーツァルトの余韻を残すべく、国分寺丘陵の見晴らしのすばらしい高台にあるレストラン「ローズガーデン」(イングリッシュ・ガーデン)で紅茶を飲みながら談笑、散会した。 文:小川 写真:荒木

=== 次回の予定 ===

3月27日(金) 午後1時より 国分寺でんえん、会費千円(コーヒーつき)
曲目 シューベルト 交響曲8番(未完成) 指揮 カラヤン フィルハーモニア
シューベルト 交響曲9番(ザ・グレイト) 指揮 ワルター コロンビア管弦楽団